

『一生懸命』幻の新座市議会報告第239弾!



たかむらともや

2024年1月31日発行

新座市議会インターネット中継

我々議員にとってネットで見られると怖いものがあります。それは「新座市議会会議録検索システム」と「インターネット中継」の二つです。

その二つを見れば、市議会を傍聴しなくても、我々が議会で何を語ったか、そして語らなかったか…それが分かるのです。

これは怖いです。大切な議案なのに、質問も討論もしてなかったり、頓珍漢な質問をしていたり、的外れな党論をしていたりしていたのがバレルからです。

その一方で、昔の自分の発言に感動したりすることもあります。

僕はそもそも原稿を読むことがないのでその時自分の頭に浮かんだ言葉を話しています。原稿がないので、正しい言葉で話しているか、それが分からない……

だから、ちょっと怖い。(笑)それでも、ちょっとは見て欲しい。色んな人の一般質問をちょこっと見るだけでも、議員としての素質があるかないか、直ぐに分かりますよ。

大事なことは、年齢でも見てくれでもなく誰が自分と同じ方向を見ているのか。誰が自分と違う方向を見ているのか。それを確かめることです。見て欲しくないけれど見て欲しい、それが「インターネット中継」。

この4年間、誰が何を語ったか、そして誰が語らなかったか…それが分かります。



上は僕のLINEのQRコード。駅で会う方は勿論どなたでも気楽に繋がって下さい。



2023年最後の川掃除の写真です。この日も栗原一丁目公園に集合。馬喰橋から川の中に入って神宝大橋で休憩してパチリ。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
54年東京青山生まれの新宿育ち。新宿区立西戸山中、都立石神井高、北海道大庭球部卒。西戸山小で向後美佐子に出

会い、西戸山中で河合隆慶に石神井高で川島正雄に出会い愛されたことで人生が変わっていった。僕の人生の節目節目には素敵な先生とユニークな友達がいた。

好きな言葉は「一生懸命」「教育は愛だ」好きな女優は綾瀬はるか、ハン・ヒョジュ好きなことは子ども達と遊ぶ・語る・学ぶこと。趣味はテニス、ギターを弾いて歌うこと読書、月に一度の川掃除、駅立ち(笑)。

好きな政治家はホセ・ムヒカ、泉房穂、山本太郎、庶民に寄り添う政治家。

あだ名は”たかやん”だが、”ともじい”というあだ名も気に入っている。(笑)

左の写真は12歳のココアと2歳のウユ。上の写真は親友の将貴としまぞー。

たかやんの連絡先

自宅・塾

042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

👤 15歳の君たちへ

人生は選択の連続

(2023年12月のたかやん塾日記から)

人生は選択の連続だ。子どもは親を選択できないから・・・生まれてくる時には選択はできない。僕の最初の選択はいつのことだっただろう。

小学生の頃のピンポンダッシュ。ピンポンを押すか、押さないか・・・選択だったのは確か。他人の家の牛乳やヤクルトを取って飲むか、やめるかそれも選択だった。

山手線と貨物線（今は埼京線）そして西武線の線路6本ダッシュで走り抜け向こうの柵をタッチして、ダッシュで戻って来る時間を競う。4階建てのアパートの屋上の縁を歩く。そういう命懸けの遊びをやるか、やらないかを決めるのも選択だった。（やったけどね）

6年生の時に都内の小学生から選ばれて、代々木のオリンピック体育館で当時の全日本のバスケット選手から毎週指導を受けたのも大きな選択だった。バスケットでオリンピックに行こうと思ったのだから・・・。

中一の1学期に骨折してバスケット部を辞めるのも選択だったし、2学期にバレー部に入って、直ぐに辞めるのも選択だった。そして、3学期にテニス部に入ったのも大きな選択だった。

中二の2学期に大好きな女の子の影響で勉強を本気でやりはじめたのも選択だったし、中三で都立21群を受験できなくなって、いじけて親友と貨幣偽造をやって戸塚警察に手配される羽目になったのも選択だった。河合先生が警察より早く見つけてくれて、職員室で泣いて、二度と悪いことをしないと誓ったことも大きな選択だった。その時河合先生が警察にも他の先生達にも僕らの親にもそれを言わなかったのは、河合先生の選択だったのだろう。



僕らがそれできっと良くなると・・・僕らのことを信じるという選択を先生はしたのだ。

そして、貨幣偽造意をした僕らは二人とも結果的に教員になることを選択したのだから・・・河合先生の選択は正しかったことになる。

その後、早稲田高校と早稲田実業からの誘いを断って都立34群を受験したのも自分の選択だった。

大学受験で慶応をやめて、北大に集中したことも選択だったし、大学3年でテニスをやめて教職の道に進んだのも大きな選択だった。一つだけ言えることは・・・**全ての選択が誰かの選択ではなく、自分の選択だった**ということ。

だから、自分の人生に悔いはない。そう、言い切れるのだ。

人生は選択の連続だ。そのことを中高大生の君たちにもちゃんと覚えていて欲しい。僕の人生の中で一番大きな選択は、河合先生に「もう二度と悪いことはしません！」そう誓った、中三の2学期のあの日の選択だったから。

15歳のあの日の、あの選択が今の僕の人生の源になっている・・・僕はそう思っているんだ。（たかやん）



北大1年の冬です。クラーク像の前での写真です。前列右の態度がでかいのが僕です。1年生は僕だけです。

色んな選択があっそうなり、これから更に大きな選択をする訳です。

